

氏名	武田 美津代	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	基礎看護学				
学位	修士（学術）				
学歴	1984年埼玉県立短期大学第一看護学科、97年放送大学教養学部生活と福祉専攻、2001年文教大学大学院修士課程 人間科学研究科生涯学習専攻、08年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース				
経歴	1995年新潟県立看護短期大学助手、98-2002年埼玉県立衛生短期大学（埼玉県立大学短期大学部看護学科）助手、06年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、09-11年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース講師、15年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会（役職）	日本看護技術学会、日本看護研究学会、日本褥瘡学会、日本排泄・ストーマリハビリテーション学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、日本生涯教育学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	2023年度版 准看護師試験問題集	共著	あり	医学書院； p 444	阿部佳子、天賀谷隆、生井明浩、武田美津代 他（解答者32名）	2022.4月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	シート型体振動計を用いた一人暮らし高齢者の睡眠の見守りと訪問支援の検討	共著	あり		埼玉作業療法、第21号	久保田富夫、林裕栄、武田美津代、新村洋未、畔上光代、水間夏子、滑川道人、三塩操
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	A県訪問看護キャリアラダー作成プロセスによるキャリア支援の一考察	共同		日本在宅ケア学会 第27回学術集会	○林裕栄、武田美津代、水間夏子、阿部真純、三塩操、渡邊恵、藤田茂治、中村由美子、飯島若子	2022.7月
2	新卒者等訪問看護師育成プログラム研修参加者の実態	共同		日本地域看護学会 第25回学術集会	○林裕栄、武田美津代、水間夏子、阿部真純、三塩操、渡邊恵、中村由美子	2022.8月
3	Field survey of the careers of visiting nurses, Report No. 1: Visiting nurses' background	共同		26th East Asian Forum of Nursing Scholars 2023	○Mitsuyo Takeda, Hiroe Hayashi, Natsuko Mizuma	2023.3月
4	Field survey of the careers of visiting nurses, Report No. 2: Analysis of training needs	共同		26th East Asian Forum of Nursing Scholars 2023	○Hiroe Hayashi, Natsuko Mizuma, Mitsuyo Takeda	2023.3月
5	Field survey of the careers of visiting nurses, Report No. 3: Visiting nurses' ideas on career development	共同		26th East Asian Forum of Nursing Scholars 2023	○Hiroe Hayashi, Mitsuyo Takeda, Natsuko Mizuma	2023.3月
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	“軽擦法”を極める～いつでも・どこでもできる“触れる技”の極意～	共著		日本看護技術学会 第20回学術集会	○福田彩子、武田美津代、柳奈津子、坂本めぐみ、木村伸子、中山久美子、兼宗美幸	2022.11月
2	訪問看護師の研修ニーズ	共著		第24回埼玉県健康福祉研究発表会	○林裕栄、武田美津代、水間夏子	2023.2月
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			訪問看護師育成のための教育セッションの機能と課題に関する研究	研究分担者	2020.4月～2024.3月

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	看護過程論		16	科目責任者と授業の事前検討を行い、演習のサポートを行った。看護過程の展開の演習では、対面で4～5グループ程度を担当してペーパーペイシエントの事例を用いた。臨床経験がなく、看護援助方法を見履修の1年生が事例を理解できるよう助言しながら、看護計画立案の指導を行った。
2	看護方法Ⅰ		16	科目責任者と協力し、技術演習が習得できるよう事前検討を行い、感染対策を考慮して技術演習の指導をおこなった。学内演習は限られた時間内に看護の基本技術を学習できるように留意した。
3	看護方法Ⅱ		16	科目責任者と協力し、技術演習が習得できるよう事前検討を行い、感染対策を考慮して技術演習の指導をおこなった。原則を意識し、安全面に配慮をして時間内に看護の基本技術を学習できるように留意した。
4	看護方法Ⅲ		16	科目責任者と協力し、技術演習が習得できるよう事前検討を行い、感染対策を考慮して技術演習の指導をおこなった。原則や安全面に配慮し、快適なケアの経験を通して看護の基本技術を学習できるように留意した。
5	看護方法Ⅳ	○	16	科目責任者として授業を計画し、感染対策と安全面を考慮しながら対面による講義と演習を行った。技術演習は自宅でも動画視聴を行えるように準備し、手技のイメージができるように工夫した。
6	看護方法Ⅴ		16	科目責任者と協力し、授業が円滑に進むようにサポートした。感染対策をしながら対面のグループワークなどに参加して学生指導を行った。
7	感染管理	○	8	対面による授業運営を準備し、グループワークや体験学習、ゲストスピーカーを招いて実践的な臨床の感染対策が学べるように計画した。講義では欠席者にも対応できるようにオンラインを併用した。
8	病態生理学		15	科目責任者と協力し、非常勤講師の授業を聴講しながらサポートした。全講義終了後には受講生の事例報告会を行い、意見交換に参加しながら評価を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習	○	2022.9月	科目統括責任者と連絡を密にし、協力しながら担当グループの授業運営をサポートした。連日の報告会の準備、運営を行った。
2	基礎看護学実習Ⅱ		2022.10月	2年生計12名（1グループ6名×2）引率し、臨床における実習指導を行った。学生2名で患者1名を受け持つことになり、主体的に看護実践ができるよう病棟師長・指導者と連携しながら工夫した。1日実習可能となり、学生の健康管理の徹底を指導した。
3	基礎看護学実習Ⅰ		2023.2月	3名の教員で37名の学生を引率し、学生の見学実習状況を見守りながら指導した。初めての臨地実習であること、コロナ禍であることから実習中の体調管理の徹底に努めた。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4月～12月	主指導 2名	副指導 名
2	修士論文	2022.4月～2023.3月	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	埼玉県新卒者など訪問看護師養成プログラム	埼玉県訪問看護ステーション協会	褥瘡ケア、ストーマケアについて
2	埼玉ストーマリハビリテーション講習会	埼玉ストーマリハビリテーション講習会実行委員会	ストーマサイトマーキング
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉ストーマリハビリテーション講習会実行委員会	委員	2015.11～現在
2	埼玉ストーマリハビリテーション実習準備委員会	委員	2019.4～現在
3	新卒者など訪問看護師養成プログラム作成委員会	委員、ワーキング委員兼務	2016.4～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学科等における委員会等	看護学科2年生担任	2022.4～
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		